

名寄新聞と PR TIMES が業務提携 地域紙と初、道北地域のコンテンツを相互掲載

―「道北ネット」をパートナーメディアへ。道北エリアの企業・自治体などへの広報PR支援でも協力―



名寄市内での締結式。左から、名寄新聞社取締役編集部部长・間所智洋氏、代表取締役・村上淳哉氏、PR TIMES パートナービジネス開発室長 高田育昌

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム・名証プレミア：3922）は2026年2月20日（金）、名寄市や近隣エリアで新聞を発行する地域紙・株式会社名寄新聞社（北海道名寄市、代表取締役：村上淳哉）と包括業務提携契約を締結いたしました。

同社が拠点を置く名寄市を始めとした北海道北部地域の情報発信・流通を活発化させることを目指し、同社が運営するニュースサイト「道北ネット」に「PR TIMES」の地域に関連するプレスリリースコンテンツを掲載するとともに、道北ネット掲載の記事コンテンツを PR TIMES が運営するトレンドニュースサイト「STRAIGHT PRESS」（読み：ストレートプレス）に転載します。

また、同社から紹介された北海道企業・団体・自治体に対し、「PR TIMES」を無料で利用できるプログラムも提供します。相互でのコンテンツ提供・掲載を地域紙との提携で実施するのは初めてとなります。「STRAIGHT PRESS」への転載はすでに開始しており、道北ネットへの転載も順次実施を予定しています。

「STRAIGHT PRESS」内転載ページ <https://straightpress.jp/tag/道北ネット>

今回、名寄新聞社が新たに加わったことで、地方情報流通のための提携は地方金融機関43例（35行・8信金）、地方メディア40社、官公庁・自治体等1道1府3県13市4機関、合計105例（47都道府県）となりました。

北海道に本拠を置く提携先としては、同じ道北エリアの産業振興を担う旭川産業プラザのほか、北海道銀行、経済産業省北海道経済産業局、北海道中小企業総合支援センター、札幌市、北海道放送、釧路市があります。

地域に密着したコンテンツの転載と地元企業・自治体等の情報発信を支援

1. 名寄新聞社が運営する「道北ネット」とコンテンツ連携

<「道北ネット」へプレスリリースコンテンツを掲載>

名寄新聞社とプレスリリース配信サービス「PR TIMES」のコンテンツ連携により、同社が運営するニュースサイト「道北ネット」に、同社発行地域の名寄市、美深・下川両町を含む道北地域に関連するプレスリリースが掲載されます。

当該地域で展開される新規事業や企業のチャレンジ、身近なキャンペーン・イベントなどの情報を、事業者や自治体発のプレスリリース原文のまま、掲載される予定です。



PR TIMES

<「道北ネット」の一部記事コンテンツを「STRAIGHT PRESS」に掲載>

「道北ネット」には名寄新聞社などが取材・執筆した報道記事コンテンツが多数掲載されています。

このコンテンツの一部を、当社が運営するトレンドニュースサイトの「STRAIGHT PRESS」に転載します。新聞記者が書いた、地域における様々な個人や企業・団体の取り組みや挑戦、日々の営みから生まれた明るい話題を、ウェブを通じてより多くの人に読んでもらうようにします。



2. 道北地域の事業者に対する広報・PRセミナーでの協力と「名寄新聞プログラム」の提供

地域に密着して取材や営業活動を行ってきた名寄新聞社と協力し、地元の企業・団体・自治体に対し、オンラインまたはオフライン（会場）で広報・PRのセミナーを開催してまいります。北海道では、旭川産業プラザなどとも同様の提携を結んでおり、他の提携先とも連携しながら、定期的に広報・PRの重要性や情報発信の実践方法などを解説する機会を設けます。

これと併せて、名寄新聞社から紹介を受けた地元企業・団体・自治体に対し、一定条件（詳細は後述）で「PR TIMES」を無料で利用できる「名寄新聞プログラム」を提供します。長年にわたって地域経済や住民の生活を支えてきた企業や、地域活性化に向けて起業・創業した事業者の情報発信を後押しします。

なお、ご紹介の基準や判断は名寄新聞社が決定し、代理店を通じた利用は対象外となります。

3. 名寄新聞社の事業・情報発信への協力および新規連携施策の検討

PR TIMES は、名寄新聞社の新規事業、あるいは同社主催・協賛の地域事業等へも協力し、地元経済の活性化につながる新規施策も共に検討してまいります。これと併せて、名寄新聞社自身が「PR TIMES」を活用して、本拠の北海道内外に取り組みを発信する際には、無償協力いたします。

地域紙との提携・連携は初めてとなることから、今回の名寄新聞社との連携モデルを継続・発展させ、他の地域紙との連携につなげることも目指してまいります。

【「PR TIMES」について】

「PR TIMES」は、報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は12万1000社を突破、国内上場企業64%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万8000人超、サイトアクセス数は月間約9000万PV、配信プレスリリース件数は累計200万件を超えています。（「PR TIMES」：<https://prtimes.jp/>）



【名寄新聞社の会社概要】

会社名：株式会社名寄新聞社
所在地：北海道名寄市大通南2丁目
創刊：1947（昭和22）年
代表者：代表取締役社長 村上淳哉
URL: <http://www.nayoro-np.com/>

地域の問題を伝える情報紙.....
名寄新聞社

北海道の事業者等へ「PR TIMES」を無償提供する「名寄新聞プログラム」

名寄新聞社が紹介する事業者に対し、各事業者がそれぞれ開始を希望する日から6カ月間、計3件まで無料で「PR TIMES」でプレスリリース配信いただける「名寄新聞プログラム」を提供します。

【名寄新聞プログラムについて】

| | |
|-------------|--|
| 内容 | プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を開始希望日から6カ月間、計3件まで無料でご利用いただけます。 (4件目以降、またはプログラム開始日から6カ月経過後の配信は、所定のご利用料金をいただきます) |
| ご利用いただけるお客様 | 以下の①～③の条件をすべて満たされるお客様 ①法人または法人格を有する企業・団体のお客様、もしくは当社基準を満たす個人事業主のお客様 ②直近1年間で、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」のご利用実績がないこと (代理店経由でのご利用は利用実績にはカウントいたしません) ③名寄新聞社を通じてお申し込みいただくこと ※紹介の判断は、名寄新聞社が行います。 |

| | |
|-------|--|
| | ※上記の条件を満たして紹介を受けた事業者様が対象となりますが、事業者様自らではなく代理店など第三者を通じたお申込み・ご利用は、プログラムの適用対象外となります。 |
| 取扱開始日 | 2026年2月20日（金） |
| お申込方法 | 名寄新聞社から事業者の皆様へ専用フォームをご案内いたします。 ※通常の企業登録申請フォームからはプログラムのお申込みができません。通常のフォームからお申込みした場合、プログラムが適用されず通常プランでの利用となってしまうので、必ず専用のフォームから申請してください。 |

名寄新聞社との包括提携の意義

名寄新聞社は、日本の最北部に位置する北海道の中でも、さらに北部を拠点として地域紙を発行しています。広大な北海道にあり、冬の積雪は深い道北地域において、名寄新聞は題字を変えながらも、住民に最も密着した情報源として、戦後直後の創刊から紙齢を刻み、地域に貢献してきました。

全国的に厳しい状況が続いている新聞業界でも、特に経営規模が小さい「地域紙」は休刊が相次いでいます。そうした中であっても、名寄新聞社は近隣の地域紙とも協力してデジタル化を進め、ビジネスと地域貢献の両面で挑戦を続けています。他の報道機関が見逃しがちな地域における人々や事業者の営み、明るいニュースを、地域に密着したメディアが丹念に取り上げ、時に地域外にも広げていくことは、情報があふれる現代だからこそ価値のあることだと考えます。

PR TIMES は北海道の企業・自治体等からの多くのプレスリリースをお預かりし、全国へ配信してきました。プレスリリースごとに市町村単位での位置情報も設定できることから、今回は広い北海道の中でも道北地域の市町村に絞って提供・転載します。

これまでは県全域を発行地域とした地方新聞との提携を行ってまいりました。今回の地域紙との連携の実績をもとに、同様の提携が無い府県を念頭に、地域紙など地域に密着したメディアに対し、地域情報の流通と発信支援の両面での提携を提案してまいりたいと考えます。

提携によせるコメント

株式会社名寄新聞社 代表取締役 村上淳哉氏

道北エリアに根ざしたニュースを届けている株式会社名寄新聞社は、国内最大級のプレスリリース配信サービス「PR TIMES」と連携し、地域情報のさらなる発信強化を目指してまいります。

取り組みの一つとして、弊社の紹介を受け、一定の条件を満たした事業者・自治体・団体は、「PR TIMES」を無料で利用できるプログラムを展開いたします。本プログラムを通じ、これまで道内中心だった情報発信を全国、さらには海外へ広げること、認知度向上、販路拡大、関係人口の創出を強力に後押しします。道北地域の魅力ある商品・サービス・取り組みを広く発信し、地域活性化に貢献してまいります。なお、本プログラムの紹介の判断は弊社が行い、代理店を通じた活用は対象外となります。

名寄新聞社は名寄市・美深町・下川町を中心に、地域の話やイベント情報などを、新聞紙面や Web サイトを通じ発信しております。中でも弊社が運営するニュースサイト「道北ネット」は、地域に密着した確かな取材力と発信力を強みとする、情報発信の拠点となっています。

株式会社 PR TIMES パートナービジネス開発室長 高田 育昌

地域に最も密着し、そこに暮らす人々の営みに寄り添い、つぶさに報じてきたメディアは、県域よりも小さな地域で発行する「地域紙」ではないかと考えます。今回、当社として、全国に数百あるとされる地域紙様としては初めて、名寄新聞社様と包括業務提携を締結させていただきました。全国的には地域紙の休刊が相次いでいますが、名寄新聞社様は北海道北部に位置し、日刊紙だけでなく、他紙とともに情報サイトも運営されるなど、野心的な取り組みをされています。

今回の提携では、双方の運営するメディアにコンテンツを相互提供もいたします。日本でも最北のエリアで新聞を発行し続ける名寄新聞社様と当社で協力し、地元の事業者の皆様の情報発信を応援するとともに、他の地域紙の皆様にも波及させていけるような挑戦をしてまいります。

株式会社 PR TIMES 「STRAIGHT PRESS」編集部 渡邊 恵理子

「STRAIGHT PRESS」は、日本全国の各地域から発信される情報をニュース記事として毎日配信している WEB メディアです。私たちは、各地域の情報発信のプラットフォームとなることを目指しており、この度、地域に密着し、挑戦を続け、戦後から長きにわたり道北地域に貢献されてきた名寄新聞社様との提携を大変嬉しく思います。

今回の連携により、ニュースサイト「道北ネット」を通して名寄新聞社様が取材・執筆された道北地域の貴重な地元情報や、企業・団体・個人の取り組みを、一人でも多くの方へお届けし、地域からの情報発信を後押しすることで、活性化に貢献していきたいと思います。



株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業数は12万1000社を超え、国内上場企業の64%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万8000人超、サイトアクセス数は月間約9000万PV、プレスリリース件数は月間4万6000件超、累計で200万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア260媒体以上にコンテンツを掲載しています（2025年11月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR活動の設計から実行まで伴走するPRパートナー事業、アート特化型のPRプラットフォーム「MARPH」、「isuta」「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える顧客サポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコース、SNSマーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム、名証プレミア 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：

- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
- アート特化型オンラインPRプラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
- 顧客サポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<http://prtimes.co.jp/>

PR TIMES